



外観：ガルバリウム鋼板の切妻屋根に明るめ木調サイディング貼りとし、スロープの腰壁には杉板型枠の木目を現し、和のテイストを感じさせる落ち着いた建物とした。カラーイメージは、神社とのバランス、周辺環境と調和する建物となるよう自然な色使いを心掛けた。



大会議室：北側内壁は外壁と同じサイディング張りとして、外部との繋がりを感じさせるポイントウォールとした。



大会議室：床は耐久性のある塩ビシート張り（木目調）を選択した。

■設計コンセプト

- ①人の集う場
 - ・・・敷地は東側に広大な畑を望み、西側には鎮守の森、南側は神社と隣接した自然豊かなロケーションとなっている。この視認性の良い場所に、屋内からも屋外からも利用できる「縁側（ウッドデッキ）」を設け、地域の人が集いやすい場を作ることを目指した。
- ②高齢者への配慮
 - ・・・これからの高齢社会への取り組みとして、バリアフリー化（スロープ、段差のない床・利用者動線の引き戸対応など）に加えて、既存のアプローチをそのまま活用できる計画として、車両をできるだけ建物のそばまで近づけられるようにした。大会議室にフルオープンできる開口サッシを設け、より利用しやすくなるように計画した。
- ③神社との繋がり
 - ・・・北八朔町の鎮守社である十二神社に配慮して、建物は御社とバランスの取れた落ち着いた意匠とした。神社倉庫はアクセスしやすい階段の傍に配置した。



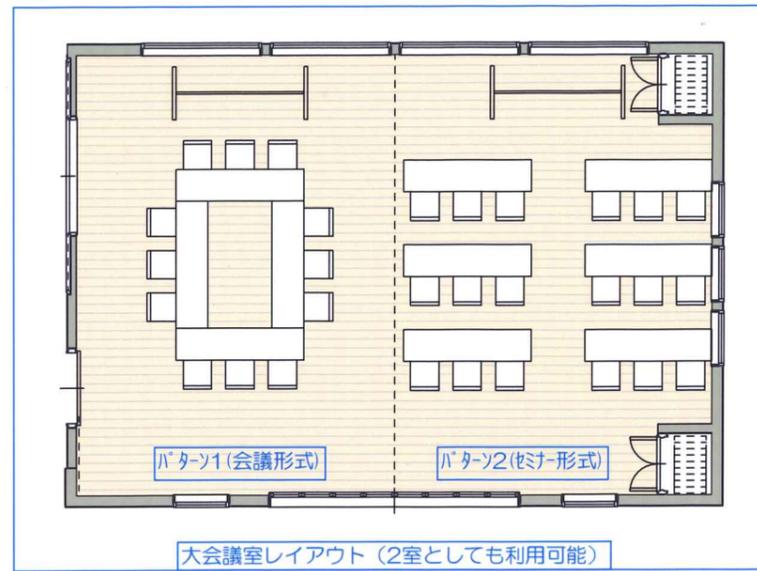
外観（東南側）

外観（東側）

【プランニングについて】

◆敷地のゾーニングとしては、東西に部屋を配置することにより南側をできるだけ広く活用する計画とした。採光・通風の良い東側に大会議室を、その南側に縁側（ウッドデッキ）を設けて、屋内外からの活発な利用を促すようにした。また、西側には裏鬼門を避けた位置に水廻りを配置し、倉庫と資料室をまとめてエントランス・大会議室からの動線が短くなるようにした。

◆外部から利用する部屋については、北側の通路からも使いやすいように動線を検討した。



■設計概要

建築地：神奈川県横浜市緑区北八朔町1266他
敷地面積：約262.68㎡
構造：木造平屋建て
建築面積：103.97㎡ (31.45坪)
延床面積：101.48㎡ (30.69坪)
建蔽率 39.58% (MAX 40%)
容積率 38.63% (MAX 80%)

■総事業費 (円)

本体工事費	22,000,000-
設備工事費	2,000,000-
外構工事費	3,000,000-
設計・工事監理費	2,400,000-
地盤調査費用 (SS調査)	150,000-
消費税10%	2,955,000-
合計	32,505,000-

